

# 監査報告

独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第 19 条第 4 項及び同法第 38 条第 2 項の規定に基づき、国立研究開発法人森林研究・整備機構（以下「法人」という。）の令和 7 事業年度（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）の業務、事業報告書、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分にに関する書類（案）、行政コスト計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及びこれらの附属明細書）及び決算報告書について監査を実施し、その方法及び結果を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

## I 監査の方法及びその内容

各監事は、監事監査規程等に基づき、理事長、理事、内部監査部門及び法人評価部門、その他の職員（以下「役職員等」という。）と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、役職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、主たる事務所及び従たる事務所において業務、財産の状況及び主務大臣に提出する書類を調査した。また、役員（監事を除く。以下「役員」という。）の職務の執行が通則法、個別法又は他の法令に適合することを確保するための体制その他法人の業務の適正を確保するための体制（財務報告プロセスを含む。以下「内部統制システム」という。）について、役職員等からその整備及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

法人は「研究開発業務」、「水源林造成業務」及び「森林保険業務」の三部門からなる国立研究開発法人である。監査に当たっては、これらの業務及び予算システムの違い等に配慮しつつ、当該事業年度の内部統制システムに係る重要事項について精査した。

さらに、当該事業年度に係る財務諸表及び決算報告書（以下「財務諸表等」という。）並びに事業報告書（会計に関する部分）について検証するに当たっては、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適切な監査を実施しているかを監視及び検討するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。また、会計監査人から会社計算規則第 131 条で定める「会計監査人の職務の遂行に関する事項」と同様の事項の通知を受け、必要に応じて説明を求めた。

以上の方法に基づき、法人の当該事業年度に係る業務、事業報告書及び財務諸表等の監査を行った。

## II 監査結果

### 1 法人の業務が、法令等に従い適正に実施されているかどうか及び中長期目標の着実な達成に向け効果的かつ効率的に実施されているかどうかについての意見

法人の業務は法令等に従い適正に実施され、研究開発業務、水源林造成業務及び森林保険業務は中長期計画及び年度計画に沿って効果的かつ効率的に実施されているものと認める。

研究開発業務については、令和 7 年度もニーズに応えた実用化研究や新規性の高い

基礎研究の成果が得られた。研究成果を社会に向けてわかりやすく発信するとともに、都道府県等の技術者への指導等により、成果の最大化に努めた。長年国民を悩ませている花粉症問題では、成長の良い少花粉スギ品種が多数開発され、現場に合った苗木の選択肢が拡大した。花粉飛散防止剤の開発も現場での散布に向けて大きく前進した。特定母樹の原種苗の配布数は過去最高本数を達成し、優良な苗木が再造林の現場に普及することが期待される。林業の現場では低コスト化や省力化が求められている中で、ドローンの活用やAIによる自動化にも取り込まれ、実用化が期待される。木材利用については、国産早生樹センダンの利用、「木の酒」の事業化に向けた大幅な進展、木質バイオマスエネルギー利用など、木材需要の創出や利用促進に向けた研究が進展した。社会との関係では、林野火災やクマの出没など社会を騒がした問題へは緊急に対応し、科学的知見の普及に努めた。国際的には、IPCCやISO規格の委員を務め、研究機関としての国際的ステータスが維持された。第5期中長期目標は一部計画以上の成果が得られた。法人としては、水源林造成業務を通じた公益的機能の高い奥地水源林の整備や森林保険業務を通じた健全な森林経営の重要性を示す科学的なエビデンスが研究により集積され、法人の価値が高まることが期待される。

水源林造成業務については、昨今の自然災害の頻発化・激甚化により、流域保全等における役割への期待感が高まっている中、造林地所有者、造林者及び市町村等の関係者との一層の連携強化を図りつつ、育成複層林や針広混交林等の森林造成や間伐などの森林整備を行うなど、水源涵養機能等の公益的機能を高度に発揮させるための施策を実施し、事業計画の達成に努めた。令和7年度は、新規の分収造林契約の締結状況及び契約期間満了を迎える契約の変更等状況の進捗管理等を含め分収造林契約の適切な管理に努め、計画は順調に進捗した。既契約地については育成複層林誘導伐とその後の植林等の造成を積極的に推進した。また、成長に優れた苗木などの新しい技術の活用や、政府が打ち出した花粉症対策に対応した『花粉の少ない苗木』の使用促進に努めた。自然災害発生時の迅速な対応についても被災森林の復旧件数・復旧面積等、基準値を上回る実績となったほか、災害発生時の支援や情報提供の仕組みづくりを進め、被災地の日常生活及び経済活動の維持に貢献した。

以上により、第5期中長期目標・計画期間の取組である(1)事業の重点化、(2)事業の実施手法の高度化のための措置、(3)地域との連携において、全ての目標に対し順調に達成したものである。

森林保険業務については、被保険者へのサービス向上の観点から、事務の簡素化、システムの充実による各種手続の効率化、業務委託先を含めた業務実施体制の強化、また保険金支払いの迅速化を図るための様々な取組を実施し改善に努めた。とりわけ、第5期中長期目標期間において、損害発生通知書受理から損害実地調査完了までの当期の平均日数について、前中長期目標期間「74日」から「59日」に大幅縮減できたことは大きな成果と言える。なお、森林経営の安定と森林の多面的機能の維持・向上を図るために、制度の普及促進と加入促進は森林保険業務の最重要課題である。公式キャラクターである「たもちい」「そよりん」を使った広報活動の促進に加え、令和7

年度は国や関係諸機関との連携を図りつつ、森林所有者をはじめ森林・林業関係者への普及活動として、概要説明のみならず各市町村の森林施業、予算を踏まえた具体的な加入プランの提示など、一步踏み込んだ活動を積極的に行ってきた。これらの活動は、第6期中長期目標・計画達成のための基盤形成である。新規加入の拡大及び継続加入に向けた加入促進は成果が出るまでに時間がかかる。引き続き「検討」「試行」「改善」に取り組むことに期待したい。

法人は、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展に係る研究開発業務を強力に推進し、成果の社会実装に努めている。水源林造成業務や森林保険業務の推進に当たっては、研究開発業務との連携をさらに深め、科学的根拠に基づいた業務運営を実施し、組織一体となり法人の使命を果たすことを期待する。

## 2 法人の内部統制システムの整備及び運用についての意見（法人の役員の職務の執行が法令等に適合することを確保するための体制その他法人の業務の適正を確保するための体制の整備及び運用についての意見）

法人の業務について、内部統制システムに関する業務方法書の記載内容は相当であると認める。また、内部統制システムに関する理事長の職務の執行について、指摘すべき重大な事項は認められない。

業務内容が多岐にわたることから、各業務部門の担当役員の下、内部統制を行い、研究所が中心になって部門間の情報共有・調整を図っていることを認める。

## 3 法人の役員の職務の執行に関し、不正の行為又は法令等に違反する重大な事実があったときは、その事実

役員職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事実は認められない。

## 4 財務諸表等についての意見

会計監査人「PwC Japan 有限責任監査法人」の監査の方法及び結果は相当であると認める。

## 5 事業報告書についての意見

事業報告書は、法令等に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

# Ⅲ 独立行政法人改革等に関する基本的な方針等過去の閣議決定において定められた監査事項についての意見

## 1 給与水準の状況

役員の報酬及び職員の給与等の水準については、いずれも国家公務員の給与に準じたものであり妥当と認める。なお、事務・技術職員における対国家公務員指数は100.3であるが、これは人事交流及び全国異動が多く、単身赴任手当及び広域異動手当の受給者の割合が多いこと等が影響しており、妥当であるものと認める。

## 2 随意契約の適正化を含めた入札・契約の状況

法人の契約は、会計規程及び契約事務取扱規程等に従って適正に行われているとともに、随意契約の適正化を含めた入札・契約の状況については、契約監視委員会（外部有識者2名、監事2名）及び入札監視委員会（外部有識者3名）により必要な点検等が行われているものと認める。

## 3 理事長の報酬水準の妥当性

理事長の報酬については、給与法指定職俸給表を参考として報酬水準が設定されており、他の国立研究開発法人の長の報酬との比較からも妥当であるものと認める。

## 4 保有資産の見直し

法人が保有する土地・建物等については、常時見直しを図り、効率的な資産保有を進めているものと認める。

令和8年6月11日

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

監事 高橋正通

監事 渡邊寿美克